

学習課題(小学校6年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「言葉の変化」(教科書 128～129 ページ) に取り組みます。

- (1) 教科書 128 ページを読みます。
- (2) 「時代による言葉のちがい」について例に出ている言葉を、ノートや取組シートにまとめます。
- (3) 他にも、こういった言葉はないか、教科書 163 ページの「柿山伏」など、昔の言葉で書かれている文章を読んで、調べてみましょう。
- (4) 教科書 129 ページを読みます。
- (5) 「世代によってちがう言葉」について調べて、まとめましょう。①の問題を参考に家の人に聞いたり、本で調べたりして、ちがう言い方を探してみましょう。

【まとめ方の例】時代による言葉のちがい

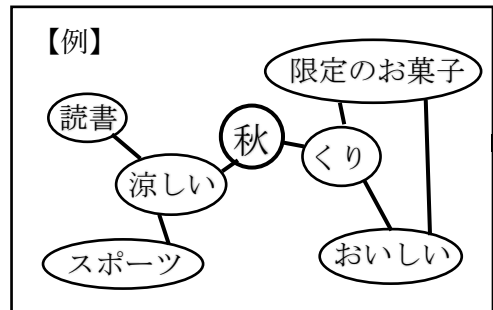
(昔)「めでたし」…すばらしい
(今)「めでたい」…
(昔)「すさまじ」…不調和でおもしろくない
(今)「すさまじい」…
(昔)「あは(わ)れなり」…
(今)「あわれだ」…かわいそうである

【まとめ方の例】世代による言葉のちがい

ノート	帳面	スーツ	
マフラー	えりまき	コート	
スプーン		ペンケース	
キッチン		ランチ	
シーツ		リビング	

◆「秋探し」(教科書 130～131 ページ) に取り組みます。

- (1) 「秋」という言葉から思い浮かぶものやイメージを右の例の様に書き出します。
- (2) 130～131 ページにある三つの短歌・俳句を読んで、自分のお気に入りをお一つ選びます。選んだ短歌または俳句をノートや取組シートに書き写して、気に入った理由をその横に書きましょう。
- (3) (1)で集めた『「秋」から思い浮かんだ言葉』から使いたい言葉を選んで短歌（五・七・五・七・七）や俳句（五・七・五）を作り、ノートや取組シートに書きましょう。
※短歌か俳句のどちらか一つでもよいです



◆書写「点画のつながり」(書写の教科書 8～9 ページ) に取り組みます。

- (1) 8 ページを読み、筆順と点画のつながりを確かめながら書きましょう。
- (2) 9 ページを参考に、筆順と点画のつながりを毛筆でも確かめましょう。
- (3) こう筆・毛筆での練習を生かし、37 ページの「こう筆のまとめ」に取り組みましょう。

◆「みんなで楽しく過ごすために」で学習する予定の新出漢字（「論」～「否」）をノートや取組シートに練習します。（読み方や書き順などは、教科書 302 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「言葉の変化」では、父母や祖父母の皆さんへインタビューを行うことで、いろいろな言葉の移り変わりに気付くことができると思います。ぜひご協力ください。
- ・「秋探し」では、お子さんと一緒に短歌や俳句作りをして、楽しんでみてください。